

# 令和2年度 事業報告書

自 令和 2年 4月 1日  
至 令和 3年 3月 31日

学校法人 尚美学園

## 目 次

	頁
I 法人の概況	
1. 設置する学校・学部・学科等	1-2
2. 役員の概要	3
3. 教職員の概況	3
4. 学校法人の沿革	4
II 尚美学園大学 事業報告	
1. 事業の概要	5-7
2. 学生諸活動報告	7-9
3. 予算執行の概要	10
III 尚美ミュージックカレッジ専門学校 事業報告	
1. 事業の概要	11
2. 学生諸活動報告	12-15
3. 予算執行の概要	16
IV 財務の状況	
1. 決算の概要	
(1) 資金収支計算書	17-18
(2) 活動区分資金収支計算書	19
(3) 事業活動収支計算書	19-20
(4) 貸借対照表	21
(5) 財産目録	22
(6) 監査報告書	23

# I 法人の概況

## 1 設置する学校・学部・学科等

(令和2年5月1日現在)

学校名	所在地 (電話番号)	学部・学科等		入学 定員	収容 定員	学生数		
						1年	2年	
尚 美 学 園 大 学	埼玉県川越市 豊田町 1-1-1 (049-246-2700)	修士	総合政策研究科	政策行政専攻	10人	20人	1年	8人
							2年	5人
							計	13人
			芸術情報研究科	情報表現専攻	10人	20人	1年	12人
							2年	9人
							計	21人
				音楽表現専攻	10人	20人	1年	3人
							2年	10人
							計	13人
		小計		30人	60人	47人		
		学士	情報表現学科	190人	690人	1年	248人	
						2年	266人	
				編入学 10人		3年	194人	
						4年	160人	
				計		868人		
			音楽表現学科	70人	410人	1年	82人	
						2年	83人	
				編入学 20人		3年	81人	
						4年	82人	
				計		328人		
			音楽応用学科	70人	300人	1年	89人	
						2年	89人	
				編入学 10人		3年	70人	
						4年	60人	
				計		308人		
			舞台表現学科	70人	300人	1年	71人	
						2年	89人	
				編入学 10人		3年	63人	
4年	65人							
計	288人							
総合政策学科	100人	400人	1年	113人				
			2年	153人				
			3年	94人				
			4年	84人				
			計	444人				
ライフマネジメント学科	0人	480人	1年	1人				
			2年	178人				
			3年	115人				
			4年	111人				
			計	405人				
スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科	160人	160人	1年	259人			
				計	259人			
小計		660人	2740人	2900人				
合計		690人	2800人	2947人				

(令和2年5月1日現在)

学校名	所在地 (電話番号)	学部・学科等	入学 定員	収容 定員	学生数		
					1年	2年	
尚美ミュージックカレッジ専門学校	東京都文京区 本郷4-15-9 (03-3814-8761)	音 楽 専 門 課 程	ピアノ学科	—	40人	1年	—
						2年	8人
						計	8人
			管弦打楽器学科	80人	160人	1年	46人
						2年	48人
						計	94人
			ジャズ・ポピュラー学科	40人	80人	1年	24人
						2年	19人
						計	43人
			ヴォーカル学科	60人	140人	1年	59人
						2年	43人
						計	102人
			プロミュージシャン学科	100人	200人	1年	110人
						2年	73人
						計	183人
			アレンジ・作曲学科	80人	160人	1年	101人
						2年	49人
						計	150人
			ミュージカル学科	40人	80人	1年	32人
2年	34人						
計	66人						
ダンス学科	40人	80人	1年	23人			
			2年	21人			
			計	44人			
声優学科	60人	120人	1年	33人			
			2年	28人			
			計	61人			
音響・映像学科	120人	220人	1年	142人			
			2年	90人			
			計	232人			
ミュージックビジネス学科	80人	160人	1年	87人			
			2年	81人			
			計	168人			
音楽総合アカデミー学科	40人	220人	1年	27人			
			2年	10人			
			3年	48人			
			4年	40人			
			計	125人			
合 計			740人	1,660人	1,276人		

## 2. 役員概要

(1) 理事及び監事（理事の定員：9名、外部理事：うち5名）

(令和3年3月31日現在)

役職	氏名	担当職務	現職
理事長	久保 公人		大学学長
理事	山本 正壽	学校運営・事務担当	専門学校学校長
理事	辻 浩己	総務・財務担当	法人本部長
理事	柴崎 義之	学校運営・事務担当	大学事務局長
理事(外部)	高橋 利幸	学校運営担当	音楽家
理事(外部)	東尾 公彦	学校運営担当	会社役員
理事(外部)	垂石 克哉	学校運営担当	会社役員
理事(外部)	原 哲男	渉外担当	弁護士
理事(外部)	山本 眞一	学校運営担当	筑波大学・広島大学・桜美林大学名誉教授
監事	國友 孝信		独立行政法人国立青少年教育振興機構アドバイザー
監事	竹田 剛志		税理士

(2) 評議員（定員：19名）

令和3年3月31日現在、評議員の総数は19名。

## 3. 教職員の概況

教職員数(人)

(令和2年5月1日現在)

区分	大 学		専門学校		計
	教員	職員	教員	職員	
本 務	83	72	33	63	251
兼 務	269	0	307	4	580
合計人数	352	72	340	67	831

#### 4. 学校法人の沿革

1926 (大正 15) 年	音楽家赤松直氏 私塾「尚美音楽院」を開設
1954 (昭和 29) 年	音大受験科開設
1959 (昭和 34) 年	尚美高等音楽学園各種学校許可受領
1967 (昭和 42) 年	学校法人尚美高等音楽学園として認可
1972 (昭和 47) 年	学校法人尚美学園尚美高等音楽学院に改称
1974 (昭和 49) 年	財団法人音楽教育研究所が本学園に移管
1976 (昭和 51) 年	専修学校制度の発足に基づき、尚美高等音楽学院、専門学校認可 ディプロマコース開設
1981 (昭和 56) 年	尚美音楽短期大学開学 (音楽学科・音楽情報学科)
1983 (昭和 58) 年	尚美高等音楽学院に音楽音響マスコミ専門課程設置 財団法人日本音楽教育文化振興会設立 (財団法人音楽教育研究所を改組)
1984 (昭和 59) 年	東京音楽音響マスコミ専門学院を設置
1985 (昭和 60) 年	尚美高等音楽学院を「東京コンセルヴァトアール尚美」に改称 東京音楽音響マスコミ専門学院を「東京音楽音響ビジネス専門学院」に改称
1986 (昭和 61) 年	尚美音楽短期大学を「尚美学園短期大学」に改称 (音楽ビジネス学科開設)
1989 (平成 1) 年	東京音楽音響ビジネス専門学院を「東京音楽音響ビジネス専門学校」に改称
1990 (平成 2) 年	尚美学園短期大学に情報コミュニケーション学科開設 皇太子殿下、尚美学園バリオホールに行啓、音楽会を鑑賞
1991 (平成 3) 年	東京コンセルヴァトアール尚美と東京音楽音響ビジネス専門学校を統合
1998 (平成 10) 年	東京コンセルヴァトアール尚美を「専門学校東京ミュージックアンドメディア アーツ尚美」に改称
2000 (平成 12) 年	尚美学園大学を開学 (総合政策学部・芸術情報学部) アメリカ・南カリフォルニア大学 (USC) シネマ・テレビジョン学部と提携 フジテレビジョンフォーラムにて SHOBI&USC 提携記念「国際映画放送カン ファレンス 2000」を開催
2003 (平成 15) 年	専門学校東京ミュージックアンドメディアアーツ尚美 新本館完成
2004 (平成 16) 年	尚美学園大学大学院総合政策研究科 開設
2006 (平成 18) 年	尚美学園大学大学院芸術情報研究科 開設
2007 (平成 19) 年	尚美学園大学総合政策学部ライフマネジメント学科 開設
2010 (平成 22) 年	専門学校東京ミュージックアンドメディアアーツ尚美を「尚美ミュージックカ レッジ専門学校」に改称
2013 (平成 25) 年	尚美学園大学上福岡キャンパスを川越キャンパスに統合
2015 (平成 27) 年	尚美学園大学芸術情報学部音楽応用学科・舞台表現学科 開設
2020 (令和 2) 年	尚美学園大学スポーツマネジメント学部スポーツマネジメント学科 開設

## II 尚美学園大学 事業報告

### 1. 当年度の事業の概要

はじめに

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、入学式が中止となり、春学期オリエンテーションと履修登録もオンラインで行うという、異例のスタートとなった。

授業に関して、春学期はオンラインのみで実施し、8月・9月に春学期集中授業と称して、演習・実技系を中心に対面授業を実施した。また秋学期は対面授業とオンライン授業を併用し、状況に応じて柔軟に授業方法を選択できるよう展開した。

オンライン授業を家庭で受けるための学修環境整備費として、学生全員に対し支援金の給付を行うとともに対面授業や部活動の再開後、大学内でオンライン授業を受けられる様、通信環境や施設の整備と強化も行った。

学生・教職員の健康と安全を最優先に考えて、入構にあたっての検温対応、消毒や飛沫防止アクリル板の設置、施設全体を抗ウイルス、抗菌コーティングする施工など、万全の感染拡大防止対策を講じるとともに、学生にできるだけ満足のいく授業等を提供できるよう、大学全体としての意思決定を迅速に行い、日々刻々変化する状況に速やかに対応してきた1年であった。

#### (1) 学生募集状況

令和2年4月の入学者状況については、定員の1.29倍の入学者となった。その要因としては新学部であるスポーツマネジメント学部において多くの入学者を確保することができたからである。

募集においては新型コロナウイルスの影響を大きく受け、高校や日本語学校に訪問できない期間や業者ガイダンスの中止、またオープンキャンパスも中止する状況となった。

そのような状況下において、広報対策としてはオンラインガイダンスやWebオープンキャンパスなど新たな企画を取り入れ、大学に来なくても本学の魅力を伝えられる様、Webでの募集活動の強化に取り組んだ。

7月以降、対面実施を再開したオープンキャンパスでは、事前申込制で参加人数を制限するなど、感染拡大防止対策を取りながらも、午前午後の二部制での実施や新たに日程を追加するなど、本学に興味のある高校生等が大学に来られる機会を多く設けた。

その結果、受験対象となる3年生以上のオープンキャンパス参加者は前年比57.7%と少ない人数であったが、参加者の第一志望率は57.2%（前年度38.8%）と、より多くの参加者を第一志望にすることができた。

入学者選抜においては、受験システムのWeb化に継続して取り組むとともに、試験室の増加や面接時にアクリルボードの設置など感染拡大防止対策を取った試験運営を行った。

#### (2) 連携について

①高等学校、日本語学校との連携を強化するために、より積極的に国内・海外において提携校の締結に向けた推進を図り、教育分野（語学留学・短期研修など）、進路指導分野（本学単独の出張授業・ガイダンス、特待生制度）の提携を実施した。

海外提携に関して、昨今活発になっている中国国内の芸術系教育に伴い、本学芸術情報学部との提携を模索する学校関係者から複数照会があった。今後、必要に応じてオンラインや対面での協議を行い、提携の可能性を探っていく。

また、既に提携している日本語教育機関との合意内容について、経年による整合性等を精査するため、20校と再提携を行った。

令和2年度提携先一覧（高等学校・日本語学校）

ア. 千代田国際語学院 令和2年9月4日調印

イ. 国際語学学院 令和2年9月4日調印

ウ. ミツミネキャリアアカデミー日本語コース 令和2年9月7日調印

エ. 江戸カルチャーセンター日本語学校 令和2年9月7日調印

オ. アン・ランゲージ・スクール 令和2年9月7日調印

- カ. メロス言語学院 令和2年9月8日調印
- キ. 武蔵浦和日本語学院 令和2年9月8日調印
- ク. アジア学生文化協会 令和2年9月9日調印
- ケ. A B K学館日本語学校 令和2年9月9日調印
- コ. カナン国際教育学院 令和2年9月9日調印
- サ. 与野学院日本語学校 令和2年9月9日調印
- シ. 友ランゲージアカデミー／友国際文化学院 令和2年9月10日調印
- ス. 青山国際教育学院 令和2年9月10日調印
- セ. 東京日語学院 令和2年9月11日調印
- ソ. 九州国際教育学院 令和2年9月14日調印
- タ. 早稲田文化館日本語科 令和2年9月16日調印
- チ. K C P地球市民日本語学校 令和2年10月1日調印
- ツ. 早稲田E D U日本語学校 令和2年10月7日調印
- テ. 福岡日本語学校 令和2年10月8日調印
- ト. 京進ランゲージアカデミー 令和2年11月16日調印
- ナ. 旭丘高等学校 令和3年3月31日調印

②川越地域における開かれた大学として、川越市や近隣のふじみ野市との提携、各協議会・運営委員会への積極的な参加を推進し、小学校、中学校などの教育機関とも交流を深め、地域社会の発展や人材育成の貢献に取り組んでいる。

令和2年度提携・委託先一覧（川越市・ふじみ野市）

- ア. 川越市政策企画課「川越市市制施行100周年会議委員」
- イ. 川越市オリンピック大会室「支援委員会委員」
- ウ. 川越市文化スポーツ部文化芸術振興課「川越市文化芸術振興計画審議会委員」
- エ. 川越市文化スポーツ部文化芸術振興課「川越マラソン実行委員会委員」
- オ. 川越市文化スポーツ部文化芸術振興課「川越市生涯学習基本計画審議会委員」
- カ. 川越市文化スポーツ部文化芸術振興課「大学間連携講座」
- キ. 川越市文化スポーツ部国際文化交流課「川越市国際化基本計画審議会委員」
- ク. 川越市文化スポーツ部国際文化交流課「川越市国際交流センター受付業務」
- ケ. 川越市総合政策部地域創生課「川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員」
- コ. 川越市総合政策部行政改革推進課「川越市公の施設指定管理者選定委員会委員」
- サ. 川越市総合政策部行政改革推進課「川越市外部評価人」
- シ. 川越市福祉部障害者福祉課「川越市障害者施策審議会委員」
- ス. 川越市教育委員会教育総務部教育総務課「川越市幼児教育振興審議会委員」
- セ. 川越市教育委員会教育総務部教育総務課「川越市教育振興基本計画審議会委員」
- ソ. 川越市教育委員会教育総務部教育総務課「活動点検評価懇談会委員」
- タ. 川越市中央公民館「川越市公民館運営審議会委員」
- チ. 川越市立美術館「川越市立美術館協議会委員」
- ツ. 川越市立大東東小学校「生活科:町たんけん学習」
- テ. ふじみ野市総合政策部経営戦略室「ふじみ野市行政評価外部評価委員会委員」

### （3）改革について

将来を見据えた財政体質の強化を図るためには、安定した入学者の確保と退学者を減らす取り組みが急務であり、そのためには魅力あるカリキュラムと時代に合った教育システムの再構築を具体的な形にすることが求められている。

その中で、教育の質向上を目的とした学生による授業評価を実施し、その結果をもとに教育実践に顕名な成果をあげた教員の功績を讃えて表彰するベストティーチャー賞制度を設け、そこから選ばれたベストティーチャーによる授業研修を実施し、授業研究・改善、授業手法の見直し、さらにネットによる授業支援などの環境整備にも取り組んでいる。



#### (4) 退学者防止対策について

退学者の防止対策については大学全体で組織的に取り組んでいる。退学に迷う学生の早期発見とアドバイザー指導、保護者への理解に取り組み、教職員による連携・協働により抑止を図っている。また、様々な支援が必要な学生と学納金未納者には、アシスト室が中心となり、学生、保護者、教員、関係部署との調整・連絡に取り組んでいる。今後は学生の授業出欠状況をアドバイザーがリアルタイムで情報共有し、組織的にアドバイザー指導を通して退学防止に導くこと、相談があった場合に迅速かつ適切な対応ができてきているかを検証し、更なる防止対策の強化を図ることが重要である。

## 2. 学生諸活動について

### (1) コンクール・オーディション合格・受賞歴

#### ①第8回 座間全国舞踊コンクール

「モダン・現代舞踊・コンテンポラリーの部 シニアアンサンブル部門」

第3位：舞台表現学科有志学生

#### ②第8回 座間全国舞踊コンクール

「モダン・現代舞踊・コンテンポラリーの部 シニアアンサンブル部門」

第3位：舞台表現学科有志学生

※2 チーム出場

### (2) 指定サークル

#### ①剣道部

・第10回東都学生剣道優勝大会

男子団体 第3位 女子団体 第3位

#### ②男子サッカー部

・第53回埼玉県大学サッカーリーグ戦1部 優勝

関東大会（関東大学リーグ2部昇格戦）出場

・天皇杯 JFA 全日本サッカー選手権 彩の国カップ第26回埼玉県サッカー選手権大会に出場

#### ③女子サッカー部

・第34回関東大学女子サッカーリーグ戦（2部）第7位（10チーム中）

・第26回関東女子サッカーリーグ（2部）group A 第4位（4チーム中）

#### ④女子硬式野球部

・第10回全国大学女子硬式野球選手権記念大会 優勝（3年連続7度目）

・WOMEN'S BASEBALL AWARDS 2020

最優秀選手 大学生の部：ライフマネジメント学科4年

#### ⑤女子チアダンス部

・日本チアダンス協会主催 第18回 全日本学生チアダンス選手権大会 決勝大会

チアダンス部門 大学生編成 第3位

ジャズ部門 大学生編成 第3位

・USA スクールアンドカレッジナショナルズ 2021

POM 部門・JAZZ 部門共に決勝大会進出

#### ⑥陸上競技部

・第99回関東学生陸上競技対校選手権大会 男子2部校

走り高跳び 優勝：スポーツマネジメント学科1年

### (3) 就職実績

#### ①公務員

陸上自衛隊中央音楽隊  
東京消防庁  
警視庁警察官  
埼玉県警警察官  
愛知県警警察官  
船橋市役所職員  
室蘭市役所職員

#### ②教員

船橋市立公立高校  
川越市立公立中学校  
越谷市立中学校  
北本市立公立小学校  
ふじみ野市立公立小学校  
所沢文化幼稚園  
埼玉県立所沢特別支援学校

#### ③教育機関・公共施設等

学校法人尚美学園尚美学園大学  
公益財団法人新潟市開発公社  
一般財団法人国際教育協会

#### ④音楽・エンタメ関連

キングレコード株式会社  
株式会社フォーライフミュージックエンタテイメント  
ヤマハミュージッククリテイリング  
株式会社サウンドハウス  
株式会社ノア（サウンドスタジオノア）  
株式会社 EWC  
BOSS ACTION UNITY  
アイザックエンタープライズ

#### ⑤スポーツ関連

スポーツコミュニティ株式会社  
株式会社 FEEL CONNECTION  
株式会社ウェルネスフロンティア  
株式会社ときわスポーツ  
株式会社メガスポーツ（スポーツオーソリティ）  
株式会社東京ドームスポーツ  
株式会社フュービック  
株式会社総合体育研究所  
株式会社 JP ホールディングス（株式会社日本保育サービス）  
株式会社ダンスワークス  
井上美代子バレエスタジオ  
カラダファクトリー

⑥その他

株式会社テイクシステムズ  
株式会社千代田ビデオ  
株式会社ザ・チューブ  
電音エンジニアリング株式会社  
四季株式会社「劇団四季」  
株式会社パシフィックアートセンター  
株式会社白川プロ  
株式会社コナミデジタルエンタテインメント  
株式会社つくばテレビ  
株式会社 KAZUP プロダクション  
富士信用金庫  
明治安田生命相互会社  
株式会社大久保恒産  
株式会社 UNIQLO  
共同エンジニアリング株式会社  
埼玉トヨタ自動車株式会社  
トヨタカローラ新埼玉株式会社  
トヨタ西東京カローラ株式会社  
日産プリンス埼玉株式会社  
株式会社スズキ自販埼玉  
株式会社ビッグモーター  
株式会社日立ビルシステムエンジニアリング  
コーセー化粧品販売株式会社  
株式会社 JINS  
株式会社ビッグカメラ  
株式会社ベルク  
株式会社ヨドバシカメラ  
株式会社ファミマ・リテール・サービス  
株式会社ロッセリア  
ALSOK  
株式会社 ABC マート  
共同エンジニアリング株式会社  
株式会社スシローグローバルホールディングス  
株式会社豊昇（日本マクドナルドフランチャイズ）  
株式会社共立メンテナンス  
佐川急便株式会社  
医療法人社団明芳 板橋中央総合病院グループ（IMS グループ）  
社会福祉法人永寿壮  
社会福祉法人東京蒼生会  
関東情報産業協同組合  
税理士法人 YMG 林会計  
郡山市園芸振興センター

### 3. 当年度の予算執行の概要

#### (1) 広報・学生募集

#### (2) 教育課程編成・実施

- ①教育の質向上を目的とした学生による授業評価の実施
- ②組織的な退学者防止対策の強化
- ③授業アンケートや学生アンケートの実施
- ④Web サービス機能の充実、情報管理、分析及び利用

#### (3) 卒業認定・学位授与の方針及び方策

- ①低学年（1, 2年次）向けキャリア教育の実施
- ②「キャリア教育科目」の策定及び実施
- ③企業との関係性強化と新規開拓の継続と拡大

#### (4) 研究・研修

- ①教職員の資質の維持向上に向け、研修等を組織的に実施
- ②危機管理・防止対策等、意識の向上のための取組
- ③IR(Institutional Research)による分析強化の検討

#### (5) 教育環境の整備・充実

- ①施設関係改修工事  
A 本部棟・メディア棟外壁工事、LED 化工事、トイレ改修
- ②教育機器の更新、修理による適切な教育環境の確保  
編集機材、楽器、サーバー 他
- ③ネットワーク環境、コンピュータ学習環境の維持、充実  
ネットワーク機器、アプリケーションライセンス、ネットワーク及びPC 環境保守、  
コンピュータウィルス対策 他
- ④維持管理  
電気、水道、ガス、スクールバス、清掃委託、消耗品 他

#### (6) 新学部設置

部室棟設置他

#### (7) コロナ対策

### Ⅲ 尚美ミュージックカレッジ専門学校 事業報告

#### 1. 当年度の事業の概要

##### (1) 教育方針と教育実践活動

本学では、パーソナル教育、実践教育、コラボレーション教育の「3つの教育ポリシー」と、それを推進するための具体的な取り組みである「6つの教育推進目標」を掲げ、学生の夢の実現にむけひとり一人を社会に繋げる教育を行うため様々なシステムを有し教育運営を行っている。

教育制度改革への対応として、教育成果と教育内容の可視化について準備を行う年度とし、あわせて国の「高等教育の修学支援新制度」の確認校として教育の質の向上に取り組むため授業計画書の改定など教育における対応を計画的に進めた。一方、年度当初より新型コロナウイルス感染症への対応として教育運営に関わる、学事予定の調整や成果の可視化を行うべき教育催事や教育手法の変更など、且つて経験したことのない災害レベルの対応を、教育を止めずに検討して実施し、年度末までに必要な教育を安全に完遂できたが、少なからず個々の学生の成果としての活動や就業・就職への動きとそのため学生の機会への提供は従前どおりとはいかなかった。このことは卒業後もフォローする取り組みを行い学生に寄り添うこととしている。

現在取り組んでいる学校運営の改革においては、運営の効率化、人件費比率の改善と計画的な組織人事、募集の強靭化を、全学あげて運営の基軸とし行っている。また新型コロナウイルス感染症への対応として手に入れた様々な新しい教育手法は、学生が卒業後の社会で必須のリテラシーやプレゼンテーション能力となるため、速やかに本学の教育手法に取り入れ、専門学校として学ぶべき教育内容として取り組むこととし、次年度に間に合うよう準備を行い教育改革への対応も機を逸せずおこなった。新型コロナウイルス感染症への対応として設備や学修支援などに多くの経費をあてることになったが、学生数の増加とあわせて学校の体力維持は図ることが出来た。

##### (2) 教育環境の整備

###### ①新型コロナウイルス感染症感染予防への対応を行った。

遠隔授業・レッスンを行う機材の購入、空気清浄機・パーテーション設置など予防施策を行った。

###### ②消防設備を更新した。

陳腐化した消防設備の更新を行った。

###### ③教室パソコンを更新した。

教室パソコン及びソフトの更新を行った。

###### ④楽器類を更新した。

授業・レッスン・練習用の楽器類の更新を行った。

##### (3) 学生募集状況

2020年4月の入学者状況については、前年度より17.8%上回ることができた。募集を停止した学科についてはほぼ同数の学生を対応する4年制学科で獲得することができたが、この分野を希望する入学者に対応する学科がわかりにくくコースが学科名に埋もれてしまっているため、今後工夫を必要とする。学科と募集部署は連携し、SNSを活用して教育内容と成果を露出し入学検討者への訴求を強化し学校及び学科情報を発信した。

- ・AO入学制度による早期の入学者確保を行った。
- ・ガイダンスでの直接対面者数の増加を行う施策を取りOCに参加勧誘を行った。
- ・オープンキャンパス参加者への学科フォローを強化し出願歩留まり率の向上を行った。
- ・特待生試験を入学希望者の学びの向上と連動する募集制度とした。
- ・オープンキャンパスへの地方参加者に交通費補助を行い募集対策として効果を上げた。
- ・各県軽音連盟・吹奏楽・ダンス・など各関連団体との連携を行った。
- ・各学科募集関連催事を教育成果発表と連動して行い入学検討者と在学生両者に相乗的な効果を狙った。
- ・ほか

## 2. 学生諸活動報告<2020 年度実績>

### (1) コンクール、オーディションなどへの入賞者・合格者、事務所所属など抜粋 アレンジ・作曲 (アレンジ・作曲学科/AC)

学科	学年	専攻	氏名	結果	主催	備考
AC	2	デジタルミュージック	相蘇 怜	所属	United Future Creators Inc.	音楽クリエイター
AC	2	デジタルミュージック	石田 怜緒	所属	東京スタイル株式会社	DJ・音楽クリエイター
AC	2	デジタルミュージック	清水 司	所属	United Future Creators Inc.	音楽クリエイター
AC	2	ソングライティング	関 麻衣	所属	United Future Creators Inc.	音楽クリエイター
AC	2	ソングライティング	増田 隆紀	オーディション合格	ゴーゴーミュージックパブリッシング株式会社	音楽クリエイター
AC	2	ソングライティング	金 イェスル	所属	株式会社ハイキックエンタテインメント	音楽クリエイター
AC	2	ソングライティング	朱 健培	所属	有限会社 Anything Goes	音楽クリエイター
AC	2	映像音楽	金 ダギョン	オーディション合格	ゴーゴーミュージックパブリッシング株式会社	音楽クリエイター

### 管弦打楽器 (管弦打楽器学科/WO 音楽総合アカデミー学科管弦打楽器コース/AcaWo)

学科	学年	専攻	氏名	コンクール・オーディション・検定名	結果	主催
WO	1	Sax.	坂本 佳穂	第31回 山梨県管打楽器ソロコンテスト	優秀演奏者賞	公益社団法人日本吹奏楽指導者協会・関東甲信越支部山梨県部会 山梨日日新聞社 山梨放送
WO	1	Sax.	平野ななみ	第40回 全日本ジュニアクラシック音楽コンクール予選	合格	東京国際芸術協会
WO	1	Hr	高橋 なみ	第30回 日本クラシック音楽コンクール全国大会	第6位	日本クラシック音楽協会
AcaWO	2	Tp	石平 智大	第1回 全日本学生国際ソロコンクール本選	優良賞	一般社団法人 国際親善音楽交流協会
AcaWO	3	Hr.	橋本 千怜	第30回 日本クラシック音楽コンクール全国大会	出演	日本クラシック音楽協会
AcaWO	4	Hr.	鶴岡 恵炊	第30回 日本クラシック音楽コンクール予選	合格	日本クラシック音楽協会
AcaWO	4	Perc.	原田 朋海	第30回 日本クラシック音楽コンクール全国大会	第5位	日本クラシック音楽協会
AcaWO	4	Perc.	森江 茉里	第3回 東京国際マリンパコンクール 本選	入選	国際芸術連盟
				第78回 TIAA 音楽コンクール 本選	奨励賞	東京国際芸術協会
AcaWO	4	Perc.	尾碕 侑希	第30回 日本クラシック音楽コンクール本選	本選通過	日本クラシック音楽協会
				第26回 宮日音楽コンクール打楽器部門本選	優良賞	宮崎日日新聞社
AcaWO	4	Perc.	門屋 夏美	第30回 日本クラシック音楽コンクール予選	予選通過	日本クラシック音楽協会

パフォーマンス（ミュージカル学科/MU 声優学科/VA）

学科	学年	氏名	コンクール・オーディション	結果	主催
MU	2	粕谷 風雅	ハウステンボスショーキャスト	合格	長崎ハウステンボス
MU	2	林 ゆかり	ハウステンボスショーキャスト	合格	長崎ハウステンボス
MU	2	有澤 瑞希	三木プロダクション	合格	
MU	2	飯塚 玲奈	スターダスト	合格	
MU	2	白鳥 光希	アーリーウイング	合格	
MU	2	伊東 茉里乃	熊本歌劇団	合格	
MU	2	小形 育美	Y ダンスカンパニー	合格	Y ダンスカンパニー
MU	2	後藤 咲良	Y ダンスカンパニー	合格	Y ダンスカンパニー
MU	2	塚田 はづき	Y ダンスカンパニー	合格	Y ダンスカンパニー
MU	2	山下 奈々	Y ダンスカンパニー	合格	Y ダンスカンパニー
MU	2	三股 香月	東京ヤクルトスワローズ	合格	東京ヤクルトスワローズ
MU	2	小関 琴美	劇団扉座研究生	合格	劇団扉座
MU	2	奥野 麻衣	M&S カンパニー	合格	
MU	2	木村 かりん	Envision-Nextage	スカウト	
MU	2	吉田 美緒	劇団イツフォーリーズ研究所	合格	劇団イツフォーリーズ
MU	2	生島 稜大	音楽座ミュージカル	合格	音楽座ミュージカル
MU	2	泉 陸	音楽座ミュージカル	合格	音楽座ミュージカル
学科	学年	氏名	オーディション	結果	主催
VA	2	大塚 葵	JTB Next Creation	合格	
VA	2	上田 優花	アクロスエンタテインメント付属養成所	合格	
VA	2	田中 優美	アクロスエンタテインメント付属養成所	合格	
VA	2	小林 祥大	アミュレート	合格	
VA	2	徳永 華連	アミュレート	合格	
VA	2	南雲 一慶	エコー俳優声優アカデミー	合格	
VA	2	松村 柚菜	エコー俳優声優アカデミー	合格	
VA	2	川崎 柚菜	エコー俳優声優アカデミー	合格	
VA	2	今田 早紀	エコー俳優声優アカデミー	合格	
VA	2	北村 菜歩	シグマセブン付属養成所	合格	
VA	2	寺川 海音	ジャパンアクションエンタープライズ養成部	合格	ジャパンアクションエンタープライズ
VA	2	吉村 悠香	ジャパンエンターテインメントアカデミー演技科	合格	ジャパンエンターテインメントアカデミー
VA	2	茂木 涼也	ステイラック附属声優・俳優養成所	合格	
VA	2	寺川 海音	声優グランプリインタビュー	合格	
VA	2	末吉 美希	日本ナレーション演技研究所	合格	
VA	2	岸 梨菜花	プロ・フィット 声優養成所	合格	プロ・フィット
VA	2	千葉 康平	プロダクションエース演技研究所	合格	
VA	2	安藤 里紗	プロダクションエース演技研究所	合格	
VA	2	林 彩香	プロダクションエース演技研究所	合格	
VA	2	和光 七海	マウスプロモーション	合格	
VA	2	大澤 秋乃	マウスプロモーション附属養成所	合格	
VA	2	青柳 歩	三木プロダクション	合格	
VA	2	森川 竜良	よこざわけいこ声優・ナレータースクール	合格	

(2) 就職先企業抜粋 (ミュージックビジネス学科 音響・映像・照明学科) 複数合格者割愛

業種	企業名	業種	企業名
EC サイト	台湾茶藝館 狐月庵	番組制作	株式会社 スリーリングス
イベント企画運営	株式会社 ブーミング	番組制作	株式会社 ブル
イベント企画運営	株式会社 ケイプロモーション	番組制作	株式会社 東京サウンドプロダクション
イベント企画運営	株式会社 KTN 新宿 SAMURAI	番組制作	株式会社 富士巧芸社
イベント企画運営	株式会社 イベント 21	番組制作	株式会社 メディア 22 世紀
映像制作	株式会社 シエロ	番組制作	株式会社 ブルーバイユー
映像制作	株式会社 シネ・フォーカス	番組制作会社	キャストカンパニー株式会社
映像制作	株式会社 エフセット	舞台管理・制作	株式会社 シグマコミュニケーションズ
映像編集	株式会社 ヴェルト	舞台照明	株式会社 光創
機材レンタル	株式会社 サウンドダック	舞台制作・音響・照明	株式会社 東舞トータルサービス
出版	株式会社 シンコーミュージック	舞台制作・音響・照明	株式会社 総合舞台
照明	株式会社 プレラーディオ	舞台制作・音響・照明	株式会社 テイク
照明	電音エンジニアリング株式会社	舞台放送設備	株式会社 共立映像
照明	株式会社 プレラーディオ	プロダクション	株式会社 ディアステージ
照明	株式会社 ステージライティングスタッフ	プロダクション	株式会社 フィット
ショークラブ	有限会社 ショーダイニング	プロダクション	株式会社 ヒップランドミュージック コーポレーション
配信	株式会社 GIFTVOX	プロダクション	株式会社 スコップミュージック
番組制作	株式会社 さんばん	プロダクション	株式会社 mad-phat
番組制作	株式会社 ルック	プロダクション	株式会社 インフルエンスマーブメント
番組制作	株式会社 ユーフィールド	プロダクション	株式会社 パーフェクトミュージック
番組制作	株式会社 エルディエル	放送	伊那ケーブルテレビジョン株式会社
番組制作	株式会社 ディークラフト	ホール管理	株式会社 サイオー
番組制作	株式会社 NX	ライブハウス	株式会社 エイビック
番組制作	株式会社 J.O.P	ライブハウス	SHOW BOX
番組制作	株式会社 千代田ビデオ	レコード企画	東洋レコーディング株式会社

就職希望者就職率 87.5% (2021.5.14 現在)

(3) 学外催事出演実績 (各学科数件程度抜粋掲載)

学科	学年	催事名/番組名	主催	会場
ジャズ・ポピュラー学科 (音楽総合アカデミー学科 JP コース/総 JP)				
JP	2	HAGANE ONEMAN LIVE 第二章「洞窟と幻想石」	HAGANE	渋谷 aube
JP	2	ZURUDOGURA	OROCHI	大阪 BIGCAT
AcaJP	4	寿司ドミナント Live	寿司ドミナント	六本木 REAL Diva's
AcaJP	4	子どもたちの健やかな成長を願う会	愛知県刈谷市教職員組合	愛知県刈谷市総合文化センター
AcaJP	4	防災研修会&音楽鑑賞会・追分地区でのライブ	軽井沢 3 1 つむぎ隊	追分公民館・軽井沢中学校
管弦打楽器学科 (音楽総合アカデミー学科 WO コース/総 WO)				
WO	2	サクソフォンアンサンブル 響雅音 第二回演奏会	サクソフォンアンサンブル 響雅音	横浜市 青葉公会堂
AcaWO	3	東京 2020 応援プログラムシビックコンサート	公益財団法人 文京アカデミー	文京シビックセンター 区民ひろば



AcaWO	3	三郷市出身若手音楽家応援事業 第2回お披露目演奏会	三郷市鷹野文化センター	三郷市文化振興
AcaWO	4	東京 SDG s 吹奏楽団 番組収録	東京 SDG s 吹奏楽団	ブラザウエストさくらホール
AcaWO	4	音大生によるサクソフォン四重奏の夕べ 2021	日本サクソフォン協会	川崎市高津市民会館ノクテイーホール
プロミュージシャン学科				
PM	1	BAND WAGON	タキタ	下北沢 THREE BASE MENT BAR
PM	2	解き放つのだ横棒 vol.26	河口正人	湘南 bit
PM	2	TWiN PARADOX ワンマンライブ vol.8 「REBOOT」	渋谷 CLUB QUATTRO	渋谷 CLUB QUATTRO
PM	2	BABEL PRESENTS SETOUT Vol.256	星野"ジュリエッタ"純一	立川 BABEL
ヴォーカル学科				
VO	1	Les Clefs d'or Collection[レクレドールコレクション]	ネクストワンプロジェクト	ベルエポック専門学校(美容)ホール
VO	1	夏の大三角形ライブ	株式会社 Freek	株式会社 Freek
VO	1	工藤 Pre シンジツノヨル ~第六夜~	工藤大誠	八王子 Match Vox
VO	2	君繫フェス 2020	下北沢 LIVEHOLIC	下北沢 LIVEHOLIC
VO	2	「FAM」	下北沢 近松	下北沢 近松
アレンジ・作曲学科				
AC	1	道の駅「ながおか花火館」オープニングイベント	道の駅「ながおか花火館」	NST スマイルスタジアム
音楽総合アカデミー学科				
AcaEO	3	シビックコンサート	公益財団法人 文京アカデミー	文京シビックセンター
AcaEO	3	エレクトーンで綴る歌謡曲コンサート~懐かしのメロディー~		シビックセンター
AcaEO	3	Y's Trio Live	新宿 Pit Inn	新宿 Pit Inn
AcaEO	3	jet ヤマハエレクトーンコンサート配信 LIVE	(株)ヤマハミュージックジャパン ヤマハ音楽振興会	ヤマハ目黒センター スペース M
ミュージカル学科				
MU	2	Sweet Dream FESTIVAL!! In Kashiwa	(株)Sweet Dream	柏 PALOOZA
MU	2	チャレフェス 文化祭 2020~未来を~	NPO 法人 チャレンジ・ド・フェスティバル	文京シビックホール
MU	2	UNIQLO AIRism CM	UNIQLO	STUDIO246
MU	2	プロ野球 セ・パ開幕戦	ヤクルトスワローズ	中日黒メジャーBスタジオ
声優学科				
VA	1	KOKI's Funk Session	伊藤 広規	かくれ家
VA	1	細かすぎて伝わらないモノマネ選手権	フジテレビ	湾岸スタジオ
VA	1	M-1 グランプリ	M-1 グランプリ事務局	よしもと幕張 イオンモール
VA	1	Mickey-T session	mickey-T	Live Music JIROKICHI
VA	2	ボイスドラマ出演	株式会社 MSL	マルニレコーディングスタジオ
ミュージックビジネス学科				
MB	1	SHORT SHORTS FILM FESTIVAL & ASIA 2020	ショートショート実行委員会	明治神宮会館
MB	2	中止、免れました!	渋谷 TSUTAYA O-WEST	渋谷 TSUTAYA O-WEST

(略記、ジャズ・ポピュラー学科/JP、音楽総合アカデミー学科ジャズ・ポピュラーコース/AcaJP、プロミュージシャン学科/PM、ヴォーカル学科/VO、音楽総合アカデミー学科電子オルガンコース/AcaEO、ミュージックビジネス学科/MB)

### 3. 当年度の予算執行の概要

#### (1) 教育の向上

各学科が、育成する人物像をより明確にし、カリキュラム、科目、教員を見直し、外部から見ても分かりやすく、魅力ある学科内容の構築を推進した。

##### ①就職・アーティスト活動を見据えた社会人教育

卒業後の就職・アーティスト活動を見据え、専門教育の他にも社会に求められる教育を行い、就職率の向上を図った。

##### ②特別講師による最先端教育

音楽・パフォーマンス・エンタテインメントプロデュースの各分野でオピニオンリーダーとして名高い方を特別講師として委嘱し、授業、レッスン、特別講座を実施して、業界の先駆的な取り組みや、知識、スキル、情報の習得を図った。

##### ③優秀者指導の実施

各学科の優秀者に対して指導を行い、オーディション合格・デビューの促進を図った。

##### ④教育成果の発表・発信

学科、学生の教育成果を公演、演奏会、イベント、イベント制作、メディア制作等として新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から無観客配信等により学内・学外にて発表・発信した。発表、発信で得た評価を更なる教育の質の改善に反映させている。

##### ⑤デビューセンターを活用したメジャーデビュープロデュース

業界関係者を招き、外部会場にて本学優秀学生のショーケースを開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発出されたため中止した。中止に伴い会場のキャンセル料が発生した。

##### ⑥学科独自の業界オーディション実施

オーディションに向けた対策講座の開催、模擬オーディションの開催から、学生のみを対象とした学科独自の業界オーディションを、業界から審査員を招聘して実施した。

#### (2) 学生支援

##### ①奨学金

特待入学奨学生、AO入学奨学生、ユニーク入学奨学生、社会人入学奨学生、留学生入学奨学生、同窓会紹介入学奨学生、特待進級奨学生、勉学奨励進級奨学生、修学支援新制度、学修支援金

##### ②クラス単位での研究、懇親のためのクラス運営費

##### ③資料室整備、ナクソスミュージックライブラリー運営費

##### ④キャリアセンターの社会資格・就業支援プログラム講座等の運営費

##### ⑤国際交流センター運営（留学生のフォロー）

#### (3) 教育環境の整備・充実

##### ①施設

ア. ホール機材更新

イ. 消防設備更新

##### ②教育機器

ア. 基幹システム（学務系）更新

イ. PC教室：PC及びソフト更新

##### ③ネットワークシステムの維持、整備

サーバホスティング、インターネットサービス、サーバ保守、基幹ネットワーク保守、LAN運用保守、教室PCメンテナンス、コンピュータウイルス対策、教職員PC更新、ソフトウェアライセンス契約 他

##### ④管理維持

電気、水道、ガス、施設保守、清掃委託、運搬、教育用・事務用消耗品 他

##### ⑤新型コロナウイルス感染症対策

遠隔授業機材一式、校舎抗菌・抗ウイルス施工、衛生用品、感染予防消耗品 他

#### (4) 広報・学生募集

## IV 財務の状況

### 1. 決算の概要

#### (1) 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度の教育研究活動およびその活動に付随する、すべての収入・支出の内容ならびに当該会計年度における支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするものです。

企業会計でいう「キャッシュ・フロー計算書」に当たりますが、当該年度の活動のすべてを明らかにするため、期末未収入金、期末未払金、前期末前受金及び前期末前払金の4つの調整勘定を用いて調整計算を行っています。

#### [収入の部]

科 目	内 容
学生生徒等納付金収入	入学金、授業料、教育充実費 など
手数料収入	入学検定料、試験料、証明手数料 など
寄付金収入	金銭その他の資産を寄贈者から贈与されたもので、補助金収入にならないもの
補助金収入	国または地方公共団体からの助成金
資産売却収入	固定資産の売却収入
付随事業・収益事業収入	教材収入、講習会収入、受託事業収入 など
受取利息・配当金収入	預貯金の利息、証券投資信託の収益の分配金及び株式の配当金
雑収入	施設等の使用料、退職金財団交付金、過年度修正収入 など
前受金収入	翌年度入学生の授業料など、翌年度の収入となるもの
その他の収入	前期の未収入金収入、預り金、仮受金 など
資金収入調整勘定	期末未収入金（当期活動の未収分）、前期末前受金（当期活動の前期入金分）

#### [支出の部]

科 目	内 容
人件費支出	専任教職員、非常勤教員等に支給する給与・賞与、アルバイト料、退職金 など
教育研究経費支出	学生生徒等の教育指導に係る経費、教員の研究活動に係る経費
管理経費支出	教育研究経費以外の経費
借入金等利息・返済支出	日本私立大学振興・共済事業団、市中銀行からの借入金に対する利息及び返済額
施設関係支出	土地、建物（電気・給排水・空調等の附属設備含む）、構築物、建設仮勘定 など
設備関係支出	機器備品、図書、車両、ソフトウェア など
資産運用支出	有価証券の購入支出、特定資産への繰入支出
その他の支出	前期の未払金支払、前払金 など
資金支出調整勘定	期末未払金（当期活動の未払分）、前期末前払金（当期活動の前期支払分）

## 資金収支計算書

令和 2 年 4 月 1 日から  
令和 3 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	5,420,000,000	5,456,880,110	△36,880,110
手数料収入	52,500,000	60,260,000	△7,760,000
寄付金収入	52,000,000	69,001,935	△17,001,935
補助金収入	360,000,000	376,753,423	△16,753,423
国庫補助金収入	279,800,000	293,876,300	△14,076,300
東京都私学財団補助金収入	9,630,000	8,040,000	1,590,000
東京都補助金収入	70,370,000	74,711,123	△4,341,123
埼玉県補助金収入	200,000	126,000	74,000
資産売却収入	552,601,106	552,601,106	0
付随事業・収益事業収入	1,000,000	1,754,010	△754,010
受取利息・配当金収入	10,000,000	34,647,866	△24,647,866
雑収入	75,545,418	72,439,321	3,106,097
前受金収入	3,340,000,000	4,313,902,359	△973,902,359
その他の収入	433,089,726	446,710,187	△13,620,461
資金収入調整勘定	△3,649,917,175	△3,877,136,671	227,219,496
前年度繰越支払資金	5,421,248,907	5,421,248,907	
収入の部合計	12,068,067,982	12,929,062,553	△860,994,571

主な科目は、学生生徒等納付金収入 5,456,880 千円、日本私立学校振興・共済事業団等による国庫補助金収入 293,876 千円です。

(単位：円)

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,758,000,000	2,448,602,625	309,397,375
教育研究経費支出	1,729,600,000	1,674,827,687	54,772,313
管理経費支出	721,000,000	620,589,652	100,410,348
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	230,000,000	179,750,238	50,249,762
設備関係支出	160,000,000	128,356,319	31,643,681
資産運用支出	1,248,840,450	1,247,149,241	1,691,209
その他の支出	587,541,091	577,125,202	10,415,889
資金支出調整勘定	△353,697,920	△337,004,279	△16,693,641
翌年度繰越支払資金	4,986,784,361	6,389,665,868	△1,402,881,507
支出の部合計	12,068,067,982	12,929,062,553	△860,994,571

主な科目は、人件費支出 2,448,603 千円、教育研究経費支出 1,674,828 千円、管理経費支出（教育研究の間接的な経費または教育研究活動に直接関係しない経費）620,590 千円です。

## (2) 活動区分資金収支計算書

資金収支計算書の内容を「教育活動」「施設整備等活動」「その他の活動」の3つに区分して資金の流れを表しています。

(単位：円)

科 目		当 年 度
教育活動による資金収支	教育活動資金収入計	6,025,703,799
	教育活動資金支出計	4,744,019,964
	差引	1,281,683,835
	調整勘定等	380,732,844
	教育活動資金収支差額	1,662,416,679
施設整備等活動による資金収支	施設整備等活動資金収入計	11,385,000
	施設整備等活動資金支出計	812,506,557
	差引	△801,121,557
	調整勘定等	△70,133,329
	施設整備等活動資金収支差額	△871,254,886
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		791,161,793
その他の活動による資金収支	その他の活動資金収入計	925,338,698
	その他の活動資金支出計	744,564,207
	差引	180,774,491
	調整勘定等	△3,519,323
	その他の活動資金収支差額	177,255,168
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		968,416,961
前年度繰越支払資金		5,421,248,907
翌年度繰越支払資金		6,389,665,868

## (3) 事業活動収支計算書

教育活動収支、教育活動外収支、特別収支と3つの活動ごとに収支のバランスを示し、経営状態を明らかにしたものです。

企業会計でいう「損益計算書」に当たり、資金の動きを伴わない「現物寄付」、「減価償却額」、「退職給与引当金繰入額」などを加えて収支計算を行います。資産や負債となるものは含まれません。

事業活動収入(収益)と事業活動支出(費用)の差額が、「損益計算書」の当期利益(損失)に当たり、「基本金組入前当年度収支差額」といいます。

企業会計と学校会計でもっとも異なる点は、「基本金」という概念です。学校法人は、基本金組入後の収支均衡を求められています。学校法人が教育研究活動を行なっていくためには、校地・校舎・機器備品・図書などの資産を持ち永続的に維持する必要があり、当該年度に資産の取得に充てた金額を組み入れる仕組みを第1号基本金といいます。他に将来計画のために組み入れる第2号基本金、運用果実を特定の事業目的に使用する第3号基本金、運営に必要な運転資金として計上する第4号基本金(文部科学大臣の定める額)があり、その額を控除したものを、当年度収支差額といいます。

### 事業活動収入

学校法人の負債とならない収入で、当年度の合計額は、6,104,160千円でした。

### 事業活動支出

学校法人が消費する費用の金額をいい、当年度の合計額は、5,332,921千円でした。

### 基本金

基本金とは、学校が諸活動を行うために必要な資産を継続的に保持するためのものです。

当年度の組入額は227,270千円でした。

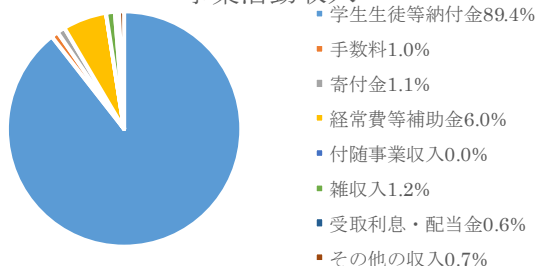
# 事業活動収支計算書

令和2年4月1日から  
令和3年3月31日まで

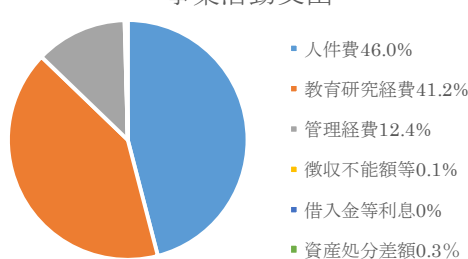
(単位：円)

	科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	5,420,000,000	5,456,880,110	△36,880,110
	手数料	52,500,000	60,260,000	△7,760,000
	寄付金	49,500,000	66,501,935	△17,001,935
	経常費等補助金	351,115,000	367,868,423	△16,753,423
	国庫補助金	279,800,000	293,876,300	△14,076,300
	東京都私学財団補助金	2,090,000	500,000	1,590,000
	東京都補助金	69,025,000	73,366,123	△4,341,123
	埼玉県補助金	200,000	126,000	74,000
	付随事業収入	1,000,000	1,754,010	△754,010
	雑収入	75,545,418	73,682,521	1,862,897
	教育活動収入計	5,949,660,418	6,026,946,999	△77,286,581
	事業活動支出の部			
	人件費	2,759,000,000	2,451,226,698	307,773,302
教育研究経費	2,529,600,000	2,198,760,111	330,839,889	
管理経費	785,700,000	660,389,910	125,310,090	
徴収不能額等	9,000,000	5,667,746	3,332,254	
教育活動支出計	6,083,300,000	5,316,044,465	767,255,535	
教育活動収支差額	△133,639,582	710,902,534	△844,542,116	
教育活動外収支	科 目	予 算	決 算	差 異
	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金	10,000,000	34,647,866	△24,647,866
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	10,000,000	34,647,866	△24,647,866
	事業活動支出の部			
	借入金等利息	0	0	0
その他の教育活動外支出	0	0	0	
教育活動外支出計	0	0	0	
教育活動外収支差額	10,000,000	34,647,866	△24,647,866	
経常収支差額	△123,639,582	745,550,400	△869,189,982	
特別収支	科 目	予 算	決 算	差 異
	事業活動収入の部			
	資産売却差額	22,437,950	22,437,950	0
	その他の特別収入	20,385,000	20,127,505	257,495
	特別収入計	42,822,950	42,565,455	257,495
	事業活動支出の部			
	資産処分差額	16,876,041	16,876,041	0
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	16,876,041	16,876,041	0
	特別収支差額	25,946,909	25,689,414	257,495
基本金組入前当年度収支差額	△97,692,673	771,239,814	△868,932,487	
基本金組入額合計	△505,000,000	△227,269,983	△277,730,017	
当年度収支差額	△602,692,673	543,969,831	△1,146,662,504	
前年度繰越収支差額	△5,593,599,698	△5,593,599,698	0	
基本金取崩額	0	9,311,161	9,311,161	
翌年度繰越収支差額	△6,196,292,371	△5,040,318,706	△1,155,973,665	
(参考)				
事業活動収入計	6,002,483,368	6,104,160,320	△101,676,952	
事業活動支出計	6,100,176,041	5,332,920,506	767,255,535	

事業活動収入



事業活動支出



#### (4) 貸借対照表

貸借対照表は、年度末における財政状態を表すものです。

ほぼ企業会計での「貸借対照表」と役割は同じですが、資本金の代わりに学校法人特有の「基本金」が表示されます。当年度末における財政状態は資産 32,971,559 千円、負債 5,259,299 千円となりました。

### 貸借対照表

令和3年3月31日

(単位：円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	26,279,891,788	26,121,415,090	158,476,698
有形固定資産	23,171,065,542	23,418,026,507	△246,960,965
土地	9,591,949,055	9,591,949,055	0
建物	12,418,041,569	12,656,485,573	△238,444,004
その他の有形固定資産	1,161,074,918	1,169,591,879	△8,516,961
特定資産	1,828,482,706	1,323,408,633	505,074,073
その他の固定資産	1,280,343,540	1,379,979,950	△99,636,410
流動資産	6,691,666,763	5,595,664,088	1,096,002,675
現金預金	6,389,665,868	5,421,248,907	968,416,961
その他の流動資産	302,000,895	174,415,181	127,585,714
資産の部合計	32,971,558,551	31,717,079,178	1,254,479,373
負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	543,082,706	540,458,633	2,624,073
退職給与引当金	543,082,706	540,458,633	2,624,073
流動負債	4,716,216,316	4,235,600,830	480,615,486
前受金	4,313,902,359	3,797,237,175	516,665,184
その他の流動負債	402,313,957	438,363,655	△36,049,698
負債の部合計	5,259,299,022	4,776,059,463	483,239,559
純 資 産 の 部			
基 本 金	32,752,578,235	32,534,619,413	217,958,822
第1号基本金	32,360,578,235	32,145,619,413	214,958,822
第4号基本金	392,000,000	389,000,000	3,000,000
繰越収支差額	△5,040,318,706	△5,593,599,698	553,280,992
翌年度繰越収支差額	△5,040,318,706	△5,593,599,698	553,280,992
純資産の部合計	27,712,259,529	26,941,019,715	771,239,814
負債及び純資産の部合計	32,971,558,551	31,717,079,178	1,254,479,373

## (5) 財産目録

## 財 産 目 録

(令和3年3月31日現在)

I 資産総額	32,714,581,717 円
内 基本財産	23,171,065,542 円
運用財産	9,543,516,175 円
II 負債総額	5,259,719,719 円
III 正味財産	27,454,861,998 円

区 分	金 額
[資産額]	
1. 基本財産	
土 地	121,677.00 m <sup>2</sup> 9,591,949,055 円
建 物	55,664.80 m <sup>2</sup> 12,418,041,569 円
構 築 物	87 件 79,861,298 円
図 書	218,193 点 785,418,278 円
教具・校具・備品	3,673 点 295,795,337 円
車 両	5 台 5 円
計	23,171,065,542 円
2. 運用財産	
現金預金	6,404,136,007 円
特定資産	1,828,482,706 円
未収入金	74,231,750 円
前 払 金	227,769,145 円
販売用品	39,600 円
電話加入権	2,774,245 円
保 証 金	3,000,000 円
有価証券	1,003,067,592 円
預 託 金	15,130 円
計	9,543,516,175 円
資 産 総 額	32,714,581,717 円
[負債額]	
1. 固定負債	
退職給与引当金	543,082,706 円
計	543,082,706 円
2. 流動負債	
未 払 金	313,727,056 円
前 受 金	4,313,902,359 円
預 り 金	89,007,598 円
計	4,716,637,013 円
負 債 総 額	5,259,719,719 円
[差引]正味財産	27,454,861,998 円




(6) 監査報告書

監 査 報 告 書

学校法人 尚 美 学 園  
理 事 会 御 中  
評 議 員 会 御 中

令和 3 年 5 月 20 日

学校法人 尚 美 学 園

監 事 竹 田 剛 志 

監 事 國 友 孝 信 

私たちは、学校法人尚美学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同学園の令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）における財産目録及び計算書類（貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動収支計算書及び収益事業に係る貸借対照表、損益計算書）及び理事の業務執行状況について監査を行いました。

監査の結果、私たちは上記の計算書類は学校法人会計基準（文部省令第18号）に準拠しており、学校法人尚美学園の令和3年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する会計年度の経営状況を適正に表示しているものと認めました。また、理事の業務執行状況に関する不正の行為または法令もしくは寄附行為に違反する事実のないことを確認いたしました。